

県立美術館開館 15 周年記念著名人連続講演会

兵庫県立美術館開館 15 周年を記念して、建築、先端技術、伝統芸能、美術における第一人者を迎え、現在取り組んでいるプロジェクトや将来の夢についてお話しいただきます。

○聴講無料

○要整理券 ※当日10:00よりホワイエ(カフェ前)にて配布

○定員300人

お問い合わせ：兵庫県立美術館 TEL 078-262-0901

第1回

5月28日(日) 妹島和世
13:30~15:00 (開場13:00)

建築家
SEJIMA Kazuyo

アクリルや金属板などの素材を用いて、空間と人がゆるやかに接続し合う建築設計で知られる。1987年に妹島和世建築設計事務所設立、1995年西沢立衛と共にSANAAを設立。2010年には「建築界のノーベル賞」と称されるプリツカー賞を日本人女性としては初めて受賞。主な建築作品に金沢21世紀美術館、ルーヴル美術館の分館ルーヴル＝ランスなど。



© Aiko Suzuki

第2回

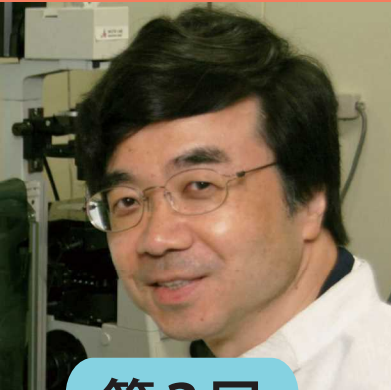
生田 幸士

東京大学工学部教授 (工学博士)
IKUTA Koji

7月29日(土)

13:30~15:00 (開場13:00)

医用ロボットとマイクロマシンの世界的先駆者として知られる。たまご落としや馬鹿ゼミなどユニークな教育も推進。肉眼では見えないマイクロアートにも挑戦中。独創人材輩出で有名な大阪府立住吉高校卒、大阪大学で金属材料工学科と生物工学科を卒業後、東京工業大学大学院博士課程修了。カリフォルニア大学、九州工業大学、名古屋大学教授などを経て、2010年に東京大学教授に就任。同年に紫綬褒章を受章。



第3回

9月6日(水) 桂南光 × 蓑豊

落語家
KATSURA Nankou

兵庫県立美術館長
MINO Yutaka

15:00~16:30 (開場14:30)

1970年3月に桂小米(故・枝雀)に入門して、芸名「べかこ」。1993年11月に三代目「桂南光」襲名。1994年12月には「上方お笑い大賞」を受賞するなど、受賞歴多数。各地での落語会をはじめ、テレビやラジオなど各方面において多彩な活躍で知られる。



第4回

名和 晃平

彫刻家
NAWA Kohei

11月19日(日)

13:30~15:00 (開場13:00)

2009年に京都に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。2011年に東京都現代美術館で個展「名和晃平 - シンセシス」を開催。独自の「Pixcell」という概念を軸に、ビーズ、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。近年は建築、舞台のプロジェクトにも取り組み空間とアートを同時に生み出すことに挑戦している。京都造形芸術大学教授。



photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH

主催：兵庫県立美術館、神戸新聞社

助成：一般財団法人安藤忠雄文化財団

協賛：株式会社アシックス、ウェスティンホテル淡路、シスメックス株式会社、株式会社シマブンコーポレーション、神鋼不動産株式会社、株式会社センチュリーモア、日本盛株式会社、学校法人阪急学園、株式会社風月堂、株式会社みなと銀行、株式会社ロック・フィールド